

# 平成29年度 学校経営方針

小平市立花小金井南中学校  
校長 畑野 茂実

## 1. はじめに

社会は流動し、格差が益々広がり明日への不安と物質的な豊かさの中で、自己中心的な考えが見え隠れし、生きづらさを感じる日々です。そして、子ども達の世界（大人の世界も）でも、何気ない言葉を発端にして「いじめ」や「不登校」という大きな問題に発展することが増えてきています。本来、人間の長い歴史の中で築かれた文化から、強者が弱者を助け共に生きていくという「優しさ」や「協（共）力・協（共）働」を身につけていかなければならない子ども達にとって、ますます厳しい時代へととなりつつあります。学校は未来を築く子ども達に「生きる力」（自立・共生）の基礎を養い、健康な心と体、そして学力を育てていくところでなければなりません。

従って、本校では、

### 教育目標

- 心身ともに健康で礼儀正しい人
- 進んで学習にとりくみ根気よく努力する人
- 勤労を尊び協力する人

を教育目標とし、

「共に学び、共に取り組み、切磋琢磨する生徒」 ～ 目指す生徒像 ～

の育成を目指し、教育活動の各領域でその実現に取り組んでいきます。

特に、子ども達には豊かな体験を通して、協働と努力の大切さや、自己の成長を実感させ、花小金井南中学校を「居心地のよい学校」にしていきたいと思えます。そこで、

### 学校づくりの基本

- I. 学ぶ意欲が高まり … 生徒のよさを引き出し、じっくりと  
うるおいのある学校 学習・生活に打ち込める環境を創っていく。
- II. 外部の教育力を … 家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、  
最大限に活用する学校 生徒の成長を促す環境を築いていく。

を柱に学校づくりを行うとともに、

### 実践目標

- I. 確かな学力の形成 … 指導法の工夫・改善（協働学習の活用等）を通して、基礎・  
基本的な内容の定着と学ぶ意欲の向上を図っていく。
- II. 人間関係の充実 … 豊かな体験（自他とのかかわり）の中から自主・自律の精神  
と社会性を養っていく。

を実践目標に掲げ、生徒一人一人への指導の充実を図っていくことが極めて重要です。

中でも、人間関係の充実に関しては、

<第1学年> **相互理解** <第2学年> **協力・団結** <第3学年> **支え合い・しなやかさ**

を視点に、「自尊感情や自己肯定感」の向上に粘り強く取り組んでいただきたいと思います。

日々、生徒と真摯に向き合う先生方の経験と知恵を結集させ、生徒や保護者、地域の人々にとって通いたい・通わせたいと思える「魅力ある学校」にしていく考えでありますので、よろしくお願いいたします。

## 2. 経営の基本方針と本年度の重点 スローガン：「 鍛える 」

|   | 経営の基本方針  | 本年度の重点   |
|---|--|--|
| 教育活動  | <p>(1) 人間尊重の教育を推進する。<br/>【各領域】生命尊重・人権尊重教育を全教育活動の基本とする。</p>   | <p>(1) 自他の尊重を重点課題とする。<br/>【各領域】*言語環境を整える。<br/>(コミュニケーション・印刷物等)<br/>*通常の学級と特別支援学級との交流と相互理解の推進する。<br/>*共に学び合い自他を大切に作る環境作りをする。</p>  |
|   | <p>(2) 学習指導の充実を図る。<br/>【各教科】・基礎学力の定着<br/>・特別支援教育の視点から誰にでも分かる授業を展開することで、学ぶ意欲を高め基本的な内容の定着と個に応じた学力の向上を図る。<br/>・アクティブラーニングの授業による授業展開を実施し、話し合い活動の充実を図り、表現力や聞く力等を育成する。</p>     | <p>(2) 計画・実行・検証・改善を実施する。<br/>【各教科】*ユニバーサルデザイン化の授業を目指す。<br/>*授業改善において協働学習を活用することにより学習意欲と学力向上を目指す。<br/>*授業改善推進プランに基づいて行う。<br/>*個に応じた指導法(少人数授業・TT他)やICTの活用等による工夫・改善を行う。<br/>*家庭学習の指導を行う。</p>                        |
|   | <p>【道徳】指導法を工夫・改善し、自尊感情・自己肯定感を高める。<br/>道徳教育の充実。</p> <p>【総合】共通テーマを設定し、課題発見・課題解決能力を高め、生きる力を醸成する。</p>  | <p>【道徳】*教材の工夫を行う。<br/>(生徒の自尊感情・自己肯定感を高める)<br/>*年間指導計画の見直しを行う。<br/>*研究の成果を活かして授業を充実させる。</p> <p>【総合】*共通テーマ…「よりよい生き方を探る」<br/>*考える・課題を発見し探求する力・発表力等を醸成する。</p>  |
|   | <p>(3) 体験活動の充実を図る。<br/>【特活】よさや可能性に気づかせながら、社会性を育成する。</p>  | <p>(3) 生徒の一人一人の『よさ』に目を向ける。<br/>【特活】*委員会・係活動、学校行事<br/>⇒「自主・自律性」や「集団や社会の一員としての自覚」を育成する。<br/>*委員会活動や部活動を活性化する。<br/>⇒生徒会や代表委員会を中心に連携した活動を計画的に取り組む。<br/>⇒「自己実現」の機会をできる限り多く与える。<br/>*生徒会朝礼の工夫・改善<br/>*花南ボランティア隊の推進</p> |
| <p>(4) 個に応じた生活・進路指導を展開する。<br/>【生活】「現在」を見つめさせながら、自己を生きし前向きに生活できるよう支援する。<br/>【進路】「将来」を考えさせながら、確かな生き方を設計できるよう支援する。</p> | <p>(4) 指導状況・結果を学年・分掌内で評価する。<br/>【生活】*コミュニケーションの基本である挨拶への指導を学校全体で取り組むことで、自他を大切に作る態度を養う。<br/>*受容・共感的な生徒指導に心がける。<br/>*組織的な対応(SCや関係機関、保護者との行動連携)<br/>【進路】*キャリア教育の計画的な実施。</p> |  |
| 学習・生活環境   | <p>(1) 基礎力の確実な定着や思考力を高める環境を作る。<br/>【読書】読書活動を推進する。<br/>【朝学習】定期的な朝学習を取り入れる。</p>  | <p>(1) 読書環境を整備する。<br/>*読書マラソンの継続と朝読書を充実させる。<br/>*図書支援員、図書ボランティアの有効な活用をする。</p> <p>(2) 計画的に朝学習期間を設定する。<br/>*定期テスト前において学習内容の復習テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。</p>   |
|   | <p>(2) 落ち着いた生活空間を作る。<br/>*環境美化に努める。</p>  | <p>(2) 校舎内外の清潔感を高める。<br/>*委員会を中心とした環境美化の取組を行っていく。<br/>*修繕箇所への迅速な対応<br/>*花ボランティアの活用による花壇等の整備</p>  |

|        |  |   |
|--------|--|---|
|        | <p>(3) 課題を抱えた生徒への支援体制を確立する。<br/>【環境】特支教育・適応指導・教育相談の連携機能を強化する。<br/>SCとSSWの有効活用<br/>質問教室の充実</p>                    | <p>(3) 組織的な活動。<br/>* 特別支援教育推進委員会を中心とした支援体制<br/>・ 学年間の調整や支援。<br/>・ 保護者の相談窓口として機能する。<br/>* SCとSSWの有効活用し、支援の必要な生徒や保護者への早期対応を図る。<br/>* 進路指導部を中心とした支援と計画の立案等を行う。</p> |
| 外部との連携 | <p>(1) 外部人材の有効活用。<br/>①東京学芸大学との連携。<br/>②大学生ボランティア等の学習支援活用。</p>   | <p>(1) 外部人材を発掘し、活用する。<br/>①研修において外部人材等を活用し資質の向上を図る。<br/>②学生ボラを活用した学習の支援活動を行う。</p>   |
|        | <p>(2) サポートチームの活用を図る。<br/>* 関係機関との行動連携（情報の共有・役割の明確化）により、健全育成に取り組む。</p>   | <p>(2) 問題行動等に組織的に対応していく。<br/>* 深刻な非行・いじめ・不登校等に対して必要に応じて関係機関と連携をとり、解決にあたる。</p>   |
|        | <p>(3) 防災体制の確立を図る。<br/>* 実効性のある防災計画を策定する。</p>  | <p>(3) 防災への意識をより高めていく。<br/>* 避難訓練の工夫・防災教育を通して、防災意識を高めていく。</p>   |
| その他    | <p>(1) 校内研修の充実を図る。<br/>①「自尊感情・自己肯定感の向上」を継続し、指導力等の向上に取り組む。<br/>②「協同学習」の継続。<br/>③特別支援教育の理解<br/>④OJT等を活用した人材育成。</p> | <p>(1) 授業改善を柱とした研修の充実<br/>①継続する。<br/>②協同学習授業を推進する。<br/>③生徒理解・指導方法・指導力の向上を図る。<br/>④主幹・主任教諭等による若手の育成をする。</p>  |
|        | <p>(2) 学校運営を円滑に行っていく。<br/>* 「報告・連絡・相談」体制を徹底する。</p>   | <p>(2) 組織的対応の徹底を図る。<br/>* 組織的な対応の定着を目指す。<br/>担当者 ⇄ 主任 ⇄ 主幹 ⇄ 副校長 ⇄ 校長<br/>* 校内組織の見直しを行う。</p>  |
|        | <p>(3) 学校情報の公開を基本とする。<br/>* 学校情報を発信していくとともに、学校へのニーズを的確にキャッチしていく。</p>   | <p>(3) 学校・学年だより・HP等を活用する。<br/>* HPの月2回以上の更新</p>   |
|        | <p>(4) 道徳教育の推進<br/>* 他者尊重の心を育てる。</p>   | <p>(4) 研究の成果を活かした取組の継続。<br/>* 健全な自尊感情を目指す。</p>  |
|        | <p>(5) 小中の連携の推進。<br/>* 入学後のスムーズな適応。</p>  | <p>(5) 春季休業中の課題。<br/>* 教科等研や小中連携を利用し課題の作成や共通意識をもつことで授業改善等に活かす。</p>  |
|        | <p>(6) オリンピック・パラリンピック教育の推進</p>   | <p>(6) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた教育を行う。<br/>* アスリート等の招致を行いスポーツの素晴らしさや果たす役割を実感させていく。<br/>* 支え合うという共生社会への意識を向上させると共に、ボランティア活動など社会に貢献しようという態度を育てる。</p>            |
|        | <p>(7) 危機管理の徹底を図る。<br/>①生徒の安全確保に努める。<br/>②説明責任・結果責任を果たす体制を確立していく。</p>  | <p>(7) 事故防止に向けた取り組み。<br/>①・日常的に施設・設備の点検やマニュアルの見直し行う。（事故発生時には迅速・的確に）<br/>・情報モラルにおける指導の充実<br/>②事実の記録をしておく。</p>  |
|        | <p>(8) 学校予算の適切な作成・執行を行う。<br/>* 計画的な執行等。<br/>* 会計事故防止<br/>* 施設管理</p>  | <p>(8) PDCAサイクルを推進する。<br/>* 効率的な学校運営が図れる計画と執行。<br/>* 私費会計担当者（主として学年会計）との連携と助言に努める。<br/>* 副校長、用務担当者と連絡を密にし、危険・破損箇所や設備の不備な状態の迅速な把握と対応を行う。</p>                     |

|   |  |
|---|--|
| <p>(9) 学校（公務員）としての信頼を高めていく。<br/> *法令（服務規律等）を遵守し、学校への信頼を一層高めていく。<br/> *体罰や不適切な指導の根絶への意識向上。</p> | <p>(9) 服務に対する意識を高めていく。<br/> *服務事故に関する研修を適宜に実施する。<br/> *服務防止月間目標の提示と「ふじこ便り」を発行する。<br/> *ともに生徒を育てるという視点で、保護者と信頼関係を築いていく。</p> |
|---|--|

### 3. おわりに

子ども達は様々な思いをもちながら私達を頼りにし、見つめています。子ども達にとって、私達の一つ一つの動きが手本となり、安らぎを与え、大きな力となっていきます。子ども達を健やかな成長へと導いていくには、職場内での人間関係や私達自身の健康維持もたいへん重要な要素といえます。このことを肝に銘じながら、生徒達だけでなく私達教職員にとっても居心地のよい学校を目指し、「鍛える」をスローガンに全力を注いでいく考えでいます。

自 立 ・ 共 生



《 教 育 目 標 》

- 心身ともに健康で礼儀正しい人
  - 進んで学習にとりくみ根気よく努力する人
  - 勤労を尊び協力する人

（勤勉、努力、勤労、協力、健康、礼儀）

鍛える

「共に学び、共に取り組む生徒（教師）」

「最後まであきらめずに切磋琢磨する生徒（教師）」

第1学年：相互理解（例：仲がよい、違いを認め合う）

第2学年：協力・団結（例：協力・責任を果たす）

第3学年：支え合い・しなやかさ（例：うるおい、心の強さ）

